

No. 1 相模鉄道本線（鶴ヶ峰駅付近）の都市計画決定に関する案件概要

議第1336号 横浜国際港都建設計画都市高速鉄道の決定

名称		位置			区域	構造		備考
番号	路線名	起点	終点	主な経過地	延長	構造形式	地表式の区間における幹線街路等との交差の構造	
	相模鉄道本線 (鶴ヶ峰駅付近)	保土ヶ谷区 西谷四丁目	旭区 二俣川 2丁目	旭区 鶴ヶ峰 二丁目	約 3,240m			線路線数2 一部4 連続立体 交差事業
		旭区 西川島町	旭区 本村町		約 2,130m	地下式		
				約 1,100m	地表式	自動車専用道路との 立体交差1箇所 幹線街路との 立体交差1箇所		
	なお、旭区白根一丁目及び鶴ヶ峰二丁目地内に鶴ヶ峰駅を設ける。							

(内容)

(仮称)相模鉄道本線（鶴ヶ峰駅付近）連続立体交差事業は、踏切安全対策を図るため、鶴ヶ峰駅周辺において、相模鉄道本線を地下化し、道路と鉄道を連続的に立体交差化するものです。

本事業を実施する区域には、道路と相模鉄道本線が交差する箇所に合計10箇所の踏切が存在しています。これらの踏切により道路が分断されていることで、交通渋滞が発生し、高齢者等の歩行者の安全性確保や災害時の緊急活動について支障をきたす可能性があります。また、鶴ヶ峰駅南側では、平成19年に市街地再開発事業が完了しており、現在は、北側でまちづくりの検討が進められていますが、線路や踏切により地域が分断され、南北の一体的なまちづくりの進捗に大きな障害となっています。

このたび、道路と鉄道との連続立体交差化により、10箇所の踏切を除却することで、踏切における渋滞の解消、歩行者の安全性の向上、災害時等における緊急活動の迅速化を図るとともに、鉄道により分断されていた地域の一体化を実現するため、相模鉄道本線（鶴ヶ峰駅付近）を都市計画決定します。